

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 2 日 (2007.8.2)

【公開番号】特開 2006-36374 (P2006-36374A)
 【公開日】平成 18 年 2 月 9 日 (2006.2.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-006
 【出願番号】特願 2004-214168 (P2004-214168)
 【国際特許分類】

B 6 5 H 3/06 (2006.01)

B 6 5 H 1/04 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 3/06 3 4 0 B

B 6 5 H 1/04 3 2 0 B

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 6 月 18 日 (2007.6.18)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

媒体の幅方向の位置決めを行う第 1 及び第 2 の媒体ガイドに案内されて前記媒体を給送する媒体給送装置であって、

前記第 1 の媒体ガイドと前記第 2 の媒体ガイドとの中央又は中心線に対称な位置に配置され、前記媒体を押圧して前記媒体の給送中に給送姿勢を規制する押圧手段を備えたことを特徴とする媒体給送装置。

【請求項 2】

前記押圧手段は、任意の押圧幅で前記媒体を押圧することを特徴とする請求項 1 に記載の媒体給送装置。

【請求項 3】

前記押圧手段は、前記媒体の供給側、且つ、前記媒体を搬送する媒体搬送手段の上流側に配設されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の媒体給送装置。

【請求項 4】

前記押圧手段は、少なくとも前記第 1 又は第 2 の媒体ガイドと連動することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の媒体給送装置。

【請求項 5】

前記押圧手段は、常に前記第 1 の媒体ガイドと前記第 2 の媒体ガイドとの中央又は中心線に対称な位置に配設されることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の媒体給送装置。

【請求項 6】

前記押圧手段は、第 1、第 2 媒体ガイドより搬送下流側に配設されることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の媒体給送装置。

【請求項 7】

媒体に記録する記録装置であって、

請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の媒体給送装置を備えたことを特徴とする記録装

置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的達成のため、本発明の媒体給送装置では、媒体の幅方向の位置決めを行う第1及び第2の媒体ガイドに案内されて前記媒体を給送する媒体給送装置であって、前記第1の媒体ガイドと前記第2の媒体ガイドとの中央又は中心線に対称な位置に配置され、前記媒体を押圧して前記媒体の給送中に給送姿勢を規制する押圧手段を備えたことを特徴としている。これにより、前記第1の媒体ガイドと前記第2の媒体ガイドとの中央又は中心線に対称な位置に配置された押圧手段が、前記媒体の給送中に発生したスキューを矯正するので、本発明に係る媒体給送装置は、媒体のスキューを矯正して媒体を正しい状態で給送することが可能である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、本発明の媒体給送装置では、前記押圧手段は、前記媒体の供給側、且つ、前記媒体を搬送する媒体搬送手段の上流側に配設されていることを特徴としている。これにより、前記媒体の供給側で発生した前記媒体のスキューを確実に矯正することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本発明の媒体給送装置では、前記押圧手段は、少なくとも前記第1又は第2の媒体ガイドと連動することを特徴としている。これにより大きさの異なる複数の媒体に対応したスキューの矯正を行うことができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、本発明の媒体給送装置では、前記押圧手段は、常に前記第1の媒体ガイドと前記第2の媒体ガイドとの中央又は中心線に対称な位置に配設されることを特徴としている。これにより、前記媒体のスキューを容易に且つ確実に矯正することができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、本発明の媒体給送装置では、前記押圧手段は、第1、第2媒体ガイドより搬送下流側に配設されることを特徴としている。これにより、スキューの再発を防止することが

できる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

上記目的達成のため、本発明の記録装置では、媒体に記録する記録装置であって、上記各媒体給送装置を備えたことを特徴としている。これにより、上記各作用効果を奏する記録装置を提供することができる。